

vol.8

# 税務署のイメージって

こんにちは、税理士の松谷泰子です。

ある日、郵便受けを開けた瞬間、心より先に手が止まる封筒がありませんか。

そう、差出人が「税務署」と書かれている封筒やハガキが入っているときがありますよね。中身を見ていないのに、なぜか頭の中では、「なんだろう、何か忘れていたかな?」、「数字、間違えた?」、「ちゃんと申告したよね?」、封筒を手にとったまま、捨てようかなって、思うことでしょう(笑)。

皆さんもご存じでしょうが、税務署からの封筒＝悪い知らせ、とは限らないのです。良い知らせが来ることもないのですが(汗^A)。

## 税務署の封筒の正体

税務署から届く文書には、年末調整の封筒、制度変更のお知らせや事務的な確認、一斉発送された通知など、さまざまな種類があります。

最近はAIやデータを活用した事務処理も進み、「問題があるから送られてきた」のではなく、「条件に当てはまったため機械的に送られた」というケースも増えています。

## すぐに捨てたいが

一番よくない対応は「開封せずに放置」、「開けてはみたけど後回し」にすること。そして、気付いたら期限が過ぎていきますよね。

内容が軽いものであっても、期限があるものが多いです。期限を過ぎてしまうと、本来は簡単に終わる話が、少しややこしくなってしまうこともあります。

## 気持ちを切り替えて

税務署から封筒が届いたら、①まず開ける、②期限を確認する、③分からなければすぐに聞く、この三つだけ意識してみてください。



## DATA

松谷泰子税理士事務所  
松谷 泰子 (まつたに やすこ)

〒462-0837  
名古屋市北区大杉三丁目8番1号  
電話：052-913-9250

皆さんには、青色申告会がついていますし、税理士も、税務署も、皆さんからの問合せに対して親切に答えてくれると思います。「こんなことで聞いていいのかな」と思うような内容ほど、早めに確認した方が、気持ちも作業も楽になることが多いものです。

## 税務署のイメージ

税務署としては、いきなり罰を与えたいわけでも、納税者を困らせたいわけでもなく、淡々と事務的に決められた仕事をしている、というのが実情だと思います。ですが、良いイメージではないことも納得です。私も退職してから、悪い方にイメージが変わりました。えっ??と思うような対応や、信じられないような発言等が少なからずありますし、苦情相談を受けたりもします。税務署全体というよりは、担当者個人の問題なのかもしれませんが、一国民、一納税者として残念に思うことばかりです。

税務職員も人間です。必要以上に怖がらず、必要以上に軽く見ず、ちょうどいい距離感で付き合うことが、個人事業者としての一つの知恵かもしれません。

## 青色申告会の異業種交流会に初参加しました

前向きに事業に取り組むステキな会員さん達と、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。ちょっとした不安などは、会員とのつながりでも解消できると思います。

ぜひ、皆さんも参加してみてください。

封筒や税金に振り回されることなく、安心して事業に集中できる一年にしていきましょう。



Rakuten ブックス



Amazon